

くさつ女性活躍応援事業【草津市】

地域の実情と課題

本市の女性の労働力率を見ると、女性の労働力率においてM字カーブの溝が県内で最も深く、女性にとって働きにくい環境であることがうかがえ、子育て期にも就業継続できる環境づくりが求められています。また、1世帯当たりの人員は2.15人（2020国勢調査）と、一人暮らし・核家族が増加しています。地域のつながりの希薄化やコロナウイルス感染拡大の影響もあり、孤立している女性が増えていると考えられます。

事業の特徴

事業① 女性のチャレンジ応援塾：就業・起業等をめざす女性を応援するため、起業塾、フォローアップセミナー、チャレンジショップ等を開催した。

事業② 女性活躍応援会議：女性活躍推進フォーラムを開催し、ロールモデルとなる女性の講演会やワークショップを実施した。当事業を通し女性活躍を推進する市民団体の育成や、事業所等とのネットワーク構築を図った。

事業③ DV相談・女性の総合相談（寄り添い支援型）：DV相談・女性総合相談を行うとともに関係機関への同行やフェミニストカウンセラーによる相談など、寄り添った相談を行った。

事業④ つながりサポート事業：生理用品等の提供を通じて、貧困・孤立・孤独により不安を抱える女性に相談窓口や各種サービスの情報提供を行うとともに、居場所の提供、地域の支援者の研修などを行った。

事業の効果

平成27年度から7年にわたり女性のチャレンジ応援塾に取り組んできた結果、起業に結びついた女性が45人となり、一定の成果が表れてきている。また、DV相談・女性の総合相談の相談件数も年々増加し、令和3年度から開始したカウンセリング事業も定着し、寄り添った相談支援を行うことができた。さらに、コロナ禍で支援が必要な女性に対して、生理用品等の提供を通し、貧困・孤立・孤独により不安を抱える女性の支援ができた。

目的・目標

事業① 女性のチャレンジ応援塾（輝☆業塾）参加者の満足度92.3%（目標90%）新規起業家45人（2月末現在）（目標35名）

事業② 女性活躍推進フォーラム参加事業社数10社（目標30社）

事業③ 相談延件数 310件（目標300件）

事業④ 生理用品の提供を通じた各種サービスや就労情報の提供。985セット、個装2,482個（目標2240セット）

連携団体

事業① くさつ☆パールプロジェクトチーム（協働委託）、草津商工会議所

事業② くさつ男女共同参画市民会議い〜ぶん（協働委託）、草津商工会議所

事業③ 各種相談窓口・機関

事業④ 草津市社会福祉協議会、各種相談窓口・機関

今後の課題

女性のチャレンジ応援塾については、卒業生が116人を超えていることから、卒業生のネットワークを拡げたり、連携した活動を支援するような事業が求められている。DV相談・女性の総合相談については、相談時間内に相談できない女性に配慮し、メールやオンラインでの相談も検討していく必要がある。つながりサポート事業については、若い女性の利用が少ないことから、設置場所や周知方法の工夫が必要である。

事業の概要

くさつ女性活躍応援事業（令和3年度）

事業① 女性のチャレンジ応援塾

◆輝りんカレッジ

卒業生が講師となったセミナーを開催し、卒業生のスキルアップと次期起業塾への参加を促した。

5/12,5/25,6/15,6/22,6/29,7/6,7/13
の全7回 参加者延べ90人



◆輝☆業塾（起業塾）▶

起業・コミュニティビジネス等にチャレンジしたい女性のために、起業するための知識と心構えなどを学習する起業塾を開催し、女性の人材育成と社会進出を支援した。
参加者：各13人



◆フォローアップセミナー

①②プレゼンテーションの指導・交流
開催日：①10月19日(火)②10月26日(火)
講師：古田真吾さん
参加者：①14人②16人



◆オープンセミナー

基調講演「仲間ときりひらく「起業」と事前相談会（オンライン開催）

開催日：8月24日（火）
参加者：31人
講師：古田真吾さん

③どうするキャッシュレス化
顧客の支払い方法を活用して顧客を囲い込み&販路拡大をめざせ
開催日：11月9日(火)
場所：くさつコミュニティ支援センター
講師：吉田昌孝さん 参加者：17人

◆キラリエフェスタ（チャレンジ支援）▲
男女共同参画・女性活躍推進フォーラム同時開催
開催日：12月4日（土）
場所：商工会議所大会議室 他
内容：起業塾の卒業生によるチャレンジショップ 出店、スタッフ参加者 22人

事業② 女性活躍応援会議

◆会議

女性の活躍に関する取り組み事例や課題、持続可能な女性の働き方などについて話し合った。

・毎月1回 年間11回開催
・各回5～7人参加

◆男女共同参画・女性活躍推進フォーラム開催

開催日：12月4日（土）
場所：キラリエ草津大会議室
内容：一部 村木厚子さん講演会
「私の歩んできた道」～あきらめない、支える、支えられる～ 参加者：100人
二部 ワークショップ
「コロナ禍で「困ったこと、気づいたこと、支え合えること」 参加者：12人



村木厚子さん講演会の様子

ワークショップの様子



事業の概要

〈さつ女性活躍応援事業（令和3年度）

事業③DV相談・女性の総合相談【寄り添い支援型】

- 一般相談
女性の相談員を配置し、本市の関係部局との連携を密接に行い、ワンストップ支援体制で相談業務を行った。（DV、家族のこと、働くことなどの相談）
（相談日） 平日および第1・第3土曜
（相談体制） 電話相談、来庁相談
（同行支援） 希望する人に、関係機関や関係各課への同行支援を行った。（延10件）
（相談件数） 310件
- 女性のためのカウンセリングルーム
（実施日） 月2回（1回は土曜日、1回は平日、ただしコロナ禍で中止期間あり）
（相談員） フェミニストカウンセラー（委託）
（相談件数） 延25件
- 連携会議
関係窓口、機関との連携連絡会議を行った。（4/22 11機関・所属）



男女共同参画センター「あい・ふらっと」相談室

事業④つながりサポート事業

コロナ禍において貧困・孤立・孤独により不安を抱える女性に、生理用品や食料品の提供を通じて、各種サービスや地域の支援につなげる。事業は、社会福祉協議会に委託して実施した。

- 生理用品の無料提供（相談窓口等のチラシ同封）（延べ 1,171セット）
 - ・キリエ内と市役所内の関係相談窓口9カ所
 - ・市内小中学校
 - ・その他機関（ハローワーク、障害者福祉センター、地域まちづくりセンター等）
- フードバンク事業との連携、居場所づくり
 - ・フードバンク事業の中で食料品とともに生理用品を提供した。（延べ338人）
 - ・市内2カ所で居場所づくりとして定期的なサロンを実施した。（延べ23人参加）
- キリエ内や市役所内トイレ等に生理用品を設置し、啓発を行った。
- ワンストップ連携会議の開催
相談機関の連携会議を開催し、情報共有を行った。（2回開催）
- 学区社会福祉協議会、民生委員児童委員を対象にした研修を行った。
11月25日 テーマ「女性の貧困・孤立・孤独」、
「対人援助に役立つカウンセリング基礎技術～話を聴くということ」（55人参加）



配布の際の目印「チューリップ」と、草津市社会福祉協議会マスコットキャラクター「ふくちゃん」